

〈後援〉
財団法人 福武学術文化振興財団

調査メンバー
募集中!

2012.4.29 [日曜日 / 昭和の日]

島の「暮らし」の歴史を探る
弓削古民家調査プロジェクト

第1回 上弓削 澤田邸

古い民家から、何が見えてくるのでしょうか？
懐かしのレア・アイテムか？
弓削の誇れる歴史の1ページか——？

弓削の暮らしを学び直してみませんか——。

島の文化の価値や面白さを再発見し、それを次世代に受け継いでいくため、島に現存するいくつかの歴史的民家の調査を行なっていきます。第1回は、上弓削にある築120年以上と言われる「澤田邸」です。調査後は、オーナーさんを囲んでの懇親会も。食事とドリンクつき。参加費は、もちろん無料。



〈第1回調査の特別ゲスト〉
志村直愛さん

東北芸術工科大学准教授、まちづくり・景観づくり専門家。日本テレビ「世界一受けたい授業」に出演も。

詳細は裏面をごらんください

弓削島の住宅文化をさぐる調査がはじまります

風光明媚な瀬戸内のなかでも、上島町にはいまだ魅力的な古い町並みを残している美しいエリアが散在しています。ここは都市部からすこし隔絶しているおかげで、かつての素朴なまちの面影が残存し、瀬戸内で脈々と受け継がれてきた生活のかたちを今に伝えているのです。これらのまちなみや民家は地域文化を考える上だけでなく、日本人のこれからの生き方を見直す上でも大変重要な地域の宝であるといえます。また、美しいまちなみは観光資源としても有効に活用できる可能性もあります。

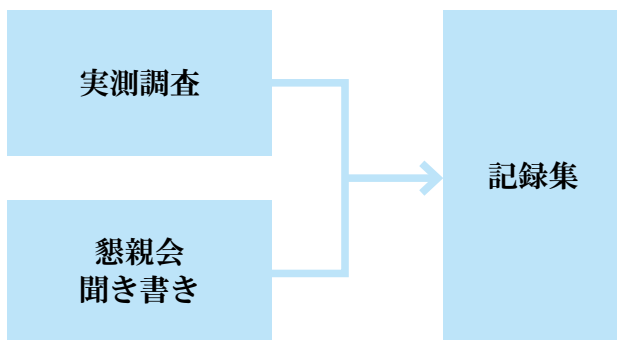
しかし昨今は人口減少に伴って空き家が増加。立派な古民家のなかにも管理が行き届いておらず、実際に朽ち果てていくものも散見されます。住まい手も高齢化し、近い将来には残念ながら空き家となるものも多いでしょう。せっかくの町の資産ですが、このままでは近い将来に、多

くの古民家が使用不能になるでしょう。それはつまり、まちなみの美しさを失い、また歴史の1ページをなくしてしまうことに他なりません。そこで、今のうちにこれらの古民家を記録に残し、活用方法も考えていくことができればと、調査を始めることにしました。



わいわいと調査し、結果は後世に

調査は実測調査と、オーナーさんなど家の昔を知る方々への聞きとりにわかれます。実測調査は何人かでグループになって実際に家の採寸をし、家の簡単な図面をつくるための資料にします。また、実測調査後はみんなでわいわいと懇親会をしながら、家の歴史や、昔の暮らしの様子を聞いていきます。調べた結果は、次世代に役立つための基礎資料として、記録集(本)にまとめます。




*弓削までは自己負担でお越し下さい。

第1回調査は特別ゲストに志村さん

第1回目の調査には、日本テレビ系列「世界一受けたい授業」に出演されたこともある志村直愛先生が来島。古民家調査のポイントについて教えて下さいます。志村先生はまちづくり・景観づくりがご専門で、日本中いろいろな集落や民家の調査をされてきました。他地域と弓削を比較しながら、これまでの弓削と、これからの弓削を考えていく、楽しい調査にしたいと思います。

開催日：4月29日(昭和の日)

10:00	下弓削港集合
10:00～	弓削の古民家めぐりミニツアー
12:00～	昼食
13:00～	実測調査
17:30～	先生のスピーチ
19:00～	オーナーさんを囲んで懇親会 (夕食ご用意します)

お申し込み・お問い合わせは 

弓削古民家調査プロジェクト
宮畑周平(瀬戸内編集デザイン研究所)
電話：0897-72-9075
メール：setouchi.edit@gmail.com